

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>高度気管狭窄を併発する緊急婦人科手術に経鼻加湿急速送気換気交換 (THRIVE) を用いることにより術中の気道管理を安全に行うことができた1症例</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>研究の対象：甲状腺腫瘍が原因で高度気管狭窄を併発した患者さんで緊急婦人科手術を行った患者さん</p> <p>研究対象期間：2019年12月</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>甲状腺腫瘍は気管を圧排し気管狭窄を引き起こします。その気管狭窄は周術期管理の気道管理に影響を及ぼす可能性があります。今回甲状腺腫瘍が気管を圧排し高度気管狭窄を併発している患者の緊急婦人科開腹手術の気道管理に経鼻加湿急速送気換気交換 (THRIVE) を用いることによって安全に気道管理を行うことができた1例を経験したので報告させていただきます。</p> <p>研究期間</p> <p>医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査・承認後、病院長の許可を得てから2020年12月まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>患者背景や術中・術後のバイタルサインを本研究に使用させていただきます。</p> <p>被験者の本研究終了後に継続する患者情報については、医師法等の関連法規に従い保管します。本研究の実施のために匿名化され取得した研究関連情報については、研究責任者あるいは分担研究者の所属する施設のコンピューターを用いて移動媒体内に保存するか、外部から切り離されたコンピューターのハードディスク内に保存します。情報を取り扱う研究者は、研究情報を取り扱うコンピューター及び移動媒体をパスワード管理するなどにより、情報の紛失・漏洩等に十分配慮した取扱いの上での保管を行います。なお、通常診療に用いる医療情報の保管・破棄は関連法規（医師法）等の規定に従うこととします。</p>
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p>

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部麻酔科学講座

氏名：上嶋 浩順

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8575

研究責任者：上嶋 浩順